



児童労働ネットワーク（CL-Net）

2013 年度 活動報告及び決算

2014 年 11 月

## 2013 年度 活動報告

(報告期間：2013 年 10 月 1 日～2014 年 9 月 30 日)

### 2013 年度活動計画<年間基本方針>

児童労働ネットワークは、2013 年度で 10 年目を迎える。「国際機関、政府、企業、労働組合、経済団体、NGO、市民等が日本において連帯・協働し、児童労働問題の解決に貢献する」という設立目的の達成に向けて、労働組合と NGO を中心にさまざまな組織及び個人が協働し、児童労働の意識啓発、世論喚起、政策提言活動を行ってきた。

2013 年度は、6 月の「ストップ！児童労働 キャンペーン 2014」を中心に展開し、児童労働を知る人・行動を起こす人を増やしていく。特にフェイスブック等のソーシャルメディアを活用し、活動を全国へ広げていく。また政策提言活動としては、2015 年に目標年を迎える「ミレニアム開発目標 (MDGs)」の次なる目標 (ポスト MDGs、及び SDG s) の策定に向けた動きに参加し、児童労働が文書の中に明記され、設定される目標と関連づけられたひとつの指標や項目として含まれるよう働きかける。

### <2013 年度全体の総括>

2013 年度は 9 年目となる「ストップ！児童労働 キャンペーン 2014」を中心に活動し、「児童労働をなくそう！」の意思をレッドカードを掲げ写真を撮ることで示すレッドカードアクション、署名活動、イベント開催、広報活動を 4 本柱として、児童労働の意識啓発及び政策提言を行った。これまで培ってきたネットワークが活発化し、児童労働の意識啓発と政策提言を進める市民の強い力と今後の可能性を実感する 1 年となった。

意識啓発面では、FIFA サッカーワールドカップと連動してキャンペーンを設計したことでレッドカードアクションが大きく広がったこと、児童労働に既に関心を持つ方々以外にもメッセージが届けられたこと、多数の組織の参加・協力を得られたこと、が今年の大きな特徴である。プロサッカー・フットサル選手やサッカー J リーグチーム、スポーツバー等の参加・協力も得られ、新たなターゲットとして設定したサッカーをプレー・応援する方々の参加を呼び込み、「児童労働をなくそう！」のメッセージが届けることができた。キャンペーン参加組織の積極的な参加を得られたほか、JICA 地球ひろばや ILO 駐日事務所等、多数の組織と協働してキャンペーンを実施できた。こうした活動の結果、Facebook を通じて「ストップ！児童労働」のメッセージを見た方は昨年キャンペーンの 2 倍、アクション参加者は 4 倍に増やすことができ、また草の根で全国へ広がるという世界でも先進的な事例を作ることができた。

政策提言面では、過去最多となる 44 万 8635 筆の署名を集めることができた。2015 年以降の国連の新たな開発目標に児童労働の撤廃を入れることを強く求め、その討議の場である国連総会前に木原誠二外務大臣政務官 (当時) に提出・要請することもできた。署名活動でも、労働組合をはじめとして日本全国の多数の組織のご協力が、過去最高の署名数に

つながった。

<会合出席・開催実績>

2013年	10月8日～10日 第3回児童労働世界会議に出席（ブラジル） 10月30日 会員総会及び学習会の開催
2014年	1月24日 児童労働に関する意見交換会に出席（主催：厚生労働省、外務省） 4月17日 ストップ！児童労働 キャンペーン 2014 事前説明会の開催 6月1日～7月13日 ストップ！児童労働 キャンペーン 2014 の開催

<会議実績>

運営委員会	計 12 回	[2013年]10/16、11/28、12/20 [2014年]1/31、2/25、3/10、4/4、4/17、5/13、6/6、8/8、9/25
-------	--------	--

1. 意識啓発及び世論喚起

1-1 児童労働理解促進のためのキャンペーンの実施

「ストップ！児童労働 キャンペーン 2014」（6月1日～7月13日）を主催し、児童労働の意識啓発及び政策提言活動を行った。9年目となるキャンペーンでは、6月12日・児童労働反対世界デーにFIFAサッカーワールドカップが開幕することを受けて、サッカーをプレー・応援する方々を新たなターゲットに「児童労働にレッドカードアクション」を実施した。本アクションは国際労働機関（ILO）が世界で実施している「児童労働にレッドカード・キャンペーン」に賛同し、CL-NetとしてILOと同じデザインのレッドカードを使用、児童労働をなくそうという意思表示としてこのレッドカードを掲げ、その写真をSNSへ投稿するアクションを日本全国に呼び掛けた。写真は714枚が集まり、9,210名が参加し、Facebookを通じて138,854名へ「児童労働をなくそう！」のメッセージを伝えることができた。また、プロサッカー・フットサル選手やJリーグチーム・柏レイソルにもアクションに賛同・参加いただき、メッセージの発信力を高めることができた。キャンペーン参加組織が主催する賛同イベントは29件開催され、約9,100名が参加し、児童労働を直接学ぶ機会を提供できた。

1-2 学習会・イベントの開催

市民及び会員団体の学びの機会として学習会（2013年10月30日、東京）を開催し、28名の参加があった。学習会ではCL-Net事務局長・岩附より第3回児童労働世界会議（2013年10月、ブラジルで開催）について報告し、CL-Net代表堀内より児童労働に関する最近の動向を解説した。その後、「ストップ！児童労働 キャンペーン 2014」に向けた参加者同士の意見交換の場を設け、多様なご意見やアイデアをいただいた。

### 1-3 広報活動の強化

キャンペーン（1-1）に関して、SNS では Facebook に加えてツイッターでの発信にも力を入れ、学生等のツイッターユーザーのキャンペーン参加を呼び込むことができた。Flickr（フリッカー：写真集積サイト）や GHORUS（ゴラス：クラウドツイーティングサービス）といったウェブツールも新たに活用し、レッドカードアクションへの参加を広く呼び掛けた。紙媒体では、フライヤーに加えてポスターとコースターを制作し、スポーツバーやフェアトレード店舗、大学、情報センター等に広報協力をいただくことができた。キャンペーンは 9 件のメディアに掲載され、中でも「レッドカードアクション」の紹介を掲載いただいた 3 つの労働組合（UA ゼンセン、フード連合、NTT 労働組合）機関紙を通じて、多くの組合員の方々に情報を発信することができた。

## 2. 国内外の団体との協働

### 2-1 児童労働ネットワークの参加団体の拡大と活性化

キャンペーン（1-1）への賛同を積極的に呼び掛け、21 組織に賛同いただくことができた。また賛同組織以外にも、Jリーグチーム・柏レイソル、JICA 地球ひろば、ILO 駐日事務所、多数の労働組合等多くの組織と協働してキャンペーンを行うことができた。レッドカードアクションには会員・賛同団体の積極的な参加をいただき、賛同イベント内でも多くアクションを実施いただけた。また、5 つの会員・賛同団体に児童労働や活動情報をお寄せいただき、キャンペーン期間中に発信するなど、参加組織との連携にも力を入れた。

### 2-2 会員団体の能力強化

学習会の開催（1-2）やキャンペーン（1-1）期間中にメールや SNS を通じて児童労働情報を発信することで、児童労働に関する能力強化の機会を提供した。

### 2-3 外部ネットワーク及び組織との連携強化

教育協力 NGO ネットワークが主催する啓発及びアドボカシーキャンペーン「世界一大きな授業」（2014 年 4 月 21 日～5 月 18 日）を後援し、双方のキャンペーン活動の周知を連携して行った。

### 2-4 国際的なネットワークの構築

第 3 回児童労働世界会議（2013 年 10 月 8 日～10 日、ブラジル）に CL-Net 事務局長岩附が出席し、他国の NGO 等とのネットワーキングや児童労働の国際的な取り組み状況についての情報収集を行った。また、学習会（1-2）や意見交換会（3-2-2）の場で、世界会議についての報告を行った。

## 3. 政策提言活動

### 3-1 ポスト 2015 年開発目標に関する提言活動

2015 年 9 月の国連総会で決定する「ポスト 2015 年開発目標」に児童労働の撤廃が含まれることを目指し、署名活動（3-2-1）で市民の声を集め、日本政府としての後押しを関係大臣へ提言した（署名提出は継続実施中）。また、日本の NGO と外務省とのポスト 2015 開発アジェンダに関する意見交換の場において、他の NGO と協働し、「児童に対する全ての形態の暴力の撤廃」についての提言文書を作成、提出した。その中で児童労働撤廃についても言及するよう働きかけた。

### 3-2 日本政府への提言活動

#### 1)署名活動

キャンペーン活動(1-1)の中で日本政府への署名活動「ストップ！児童労働 30 万人署名」を実施し、4 月中旬から 7 月末までの 3.5 カ月間で、目標を大きく上回る 44 万 8635 筆を集めた。2008 年に開始した署名は、累計 123 万 2557 筆にのぼる。連合の中央執行委員会の確認事項となったことで、新たに署名に取り組む組織が増えたこと、労働組合の方々との事前調整で署名期間を延長したことが成果に貢献した。プレスリリースを発行しメディア掲載を狙ったが、実現はしなかった。外務政務官以外の要請先大臣への提出及び要請は、2014 年度に行う予定である。本年度の署名は、下記 2 点を内閣総理大臣および 5 大臣（内閣府特命担当大臣、外務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣）に要請するもので、うち外務省へは 8 月 25 日に木原政務官（当時）に提出し、ポスト 2015 年開発目標へ児童労働の撤廃が入るよう日本政府としての後押しを強く求めた。

#### [要請事項]

1. 地球規模問題の解決を目指し国連で新たにつくる目標の中に、児童労働の撤廃が含まれるよう提言してください。
2. 児童労働撤廃に向け、日本の関係者が定期的に集う会議を設けてください。

#### 2)厚生労働省及び外務省による「児童労働に関する意見交換会」の開催促進

厚生労働省及び外務省の主催で「児童労働に関する意見交換会」(2014 年 1 月 24 日)が開催され、CL-Net より代表堀内を含む 4 名が出席した。同意見交換会は、CL-Net の署名要請に対応する形で第 1 回が 2010 年 7 月に開催され、続く第 2 回として開催されたもので、上述の第 3 回児童労働世界会議(2-4)を受けて CL-Net が報告の場の設置を外務省へ働きかけ実現した。同世界会議の出席報告、国内における各機関の児童労働の撤廃に関する取組報告、意見交換が行われ、CL-Net 事務局長・岩附からも世界会議への出席報告を行った。

### 3-3 国際機関への提言活動

第 3 回児童労働世界会議(2-4)の会議場でガイ・ライダー ILO 事務局長と面会し、「ストッ

「ストップ！児童労働 キャンペーン 2013」の取り組みを報告し、最終成果物を手渡した。ILO に日本市民の児童労働撤廃の声を直接届けることができた。

#### **4. その他の活動**

##### **4-1 資金調達活動**

オリジナル缶バッジの販売や、有料セミナー（1-2）の開催、「ストップ！児童労働 キャンペーン 2014」における賛同団体の増加等を通じて予算以上の収入を獲得し、当期収支差額をプラスにすることができた。

##### **4-2 10周年を記念した活動の検討と準備**

2014年9月1日にCL-Netは設立10周年を迎えた。外務省NGO研究会の受託を通じ10周年記念の事業を実施する方向でテーマ提案を行ったが、テーマが採用されなかったため実施に至らなかった。

以上

# 2013 年度決算報告

(報告期間：2013年10月1日～2014年9月30日)

承認：2014年11月28日

単位 (円)

## 【収入】

科目	2013年度 予算	2013年度 決算案	2013年度決算案に関する説明
<b>1. 会費収入</b>	<b>444,000</b>	<b>418,000</b>	
(1) 団体正会員	400,000	380,000	1万円×38口 (20団体) ※1団体 (1口) 未納、1団体 (1口) 退会
(2) 個人正会員	40,000	35,000	5千円×7口 (5名) ※1名退会、1名協力会員へ移行
(3) 協力会員	4,000	3,000	1千円×3口 (2名) ※2012年度分を1口含む
<b>2. 寄付金収入</b>	<b>2,000</b>	<b>2,000</b>	
<b>3. 事業収入</b>	<b>410,000</b>	<b>474,193</b>	
(1) キャンペーン	360,000	393,693	※詳細別紙参照
(2) イベント、その他	5,000	5,500	学習会参加費 (500円×11名)
(3) 缶バッジ他	45,000	75,000	缶バッジ販売個数: 卸販売 (300円) ×250個
<b>4. 助成金収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>5. その他収入</b>	<b>0</b>	<b>91</b>	
(1) 銀行利息	0	91	銀行利息
(2) その他	0	0	
<b>当期収入合計 (A)</b>	<b>856,000</b>	<b>894,284</b>	
<b>前年度からの繰入金</b>	<b>408,603</b>	<b>408,603</b>	
<b>収入合計 (B)</b>	<b>1,264,603</b>	<b>1,302,887</b>	

## 【支出】

科目	2013年度 予算	2013年度 決算案	2013年度決算案に関する説明
<b>1. 事業費</b>	<b>585,000</b>	<b>473,608</b>	
(1) キャンペーン	360,000	390,540	※詳細別紙参照
(2) 提言活動	100,000	0	支出なし
(3) 国内ネットワーク連携	5,000	5,000	「世界一大きな授業」キャンペーン賛同費
(4) 国際ネットワーク連携	100,000	78,068	第3回児童労働世界会議参加に係る現地交通費、滞在費、通信費等
(5) 資金調達活動	10,000	0	支出なし
(6) 参加団体の拡大と活性化	10,000	0	支出なし
(7) 広報活動	0	0	支出なし ※ (1) キャンペーン の中で広報活動を実施した
(8) イベント・その他	0	0	支出なし
<b>2. 管理費</b>	<b>389,380</b>	<b>366,620</b>	
(1) 通信費	20,000	3,402	送料
(2) 消耗品費	5,000	1,077	ファイル、伝票等
(3) 印刷費	30,000	28,210	印刷機・コピー機利用代
(4) 事務局運営費	240,000	240,000	2万円×12か月
(5) 交通費(インターン、アルバイト)	90,000	90,000	1万円×9か月 (インターン)
(6) ウェブ維持費	3,380	3,448	ドメイン管理料、ドメインサービス料、サーバー代
(7) 手数料	1,000	483	振込手数料
<b>3. 予備費</b>	<b>10,620</b>	<b>0</b>	支出なし
<b>当期支出合計 (C)</b>	<b>985,000</b>	<b>840,228</b>	
<b>当期収支差額 (A)-(C)</b>	<b>-129,000</b>	<b>54,056</b>	
<b>収支合計 (B)-(C)</b>	<b>279,603</b>	<b>462,659</b>	
<b>次年度への繰越金</b>	<b>279,603</b>	<b>462,659</b>	

### 備考:

別紙記載の「ストップ! 児童労働 キャンペーン2014」(収入3-1及び支出1-1)は、会計年度は2013年度で処理しています。

## 在庫表

項目名	在庫数 (a)	単価	合計	[参考]2012 年度末 在庫 数 (b)	[参考] 年間 使用数 (b)-(a)
缶バッジ	368	定価500円、 卸価300円	110,400～ 184,000円	519	151
キャンペーン2014 フライヤー	155	—	—	—	—
キャンペーン2014 ポスター	1	—	—	—	—
キャンペーン2014 コースター	39	—	—	—	—
キャンペーン2013 報告書	188	—	—	275	87
キャンペーン2013 報告ポスター	21	—	—	58	37
キャンペーン2013 フライヤー	839	—	—	872	33
短信17号	182	—	—	184	2
短信16号	41	—	—	42	1
短信15号	6	—	—	6	0
短信14号	71	—	—	71	0
短信13号	56	—	—	56	0

### 缶バッジの使用及び売上に関する補足

2013年度は250個を会員団体へ販売、1個をサンプルで使用した。うち100個は、納品を2012年度、入金を2013年度で手続きしたため、年間で動いた実数は151個となり、年間使用数(在庫表)と売上数(決算案)に誤差が生じている。

## ストップ！児童労働 キャンペーン2014決算

※活動実施年度は2013年度です。

作成：2014年10月16日

【収入】

単位（円）

大科目	キャンペーン 2014予算	キャンペーン 2014決算	備考
<b>1) キャンペーン運営費</b>	<b>160,000</b>	<b>195,000</b>	※()は予算上の組織数
賛同団体	80,000	95,000	団体1口(5千円)×15(12)、団体2口×2(2)
賛同企業	30,000	50,000	企業1口(1万円)×3(3)、企業2口×1(0)
賛同個人	0	0	
賛同その他	50,000	50,000	CL-Net会員、任意
寄附	0	0	
<b>2) NGO-労働組合国際協働フォーラムより</b>	<b>200,000</b>	<b>198,693</b>	
児童労働グループ活動費	200,000	198,693	広報ツール作成費（実費精算、報告書以外）
<b>3) CL-Net予算より</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>収入合計（A）</b>	<b>360,000</b>	<b>393,693</b>	

【支出】

項目	キャンペーン 2014予算	キャンペーン 2014決算	備考
<b>1) 広報費（印刷物）</b>	<b>160,000</b>	<b>235,283</b>	
フライヤー	85,000	92,073	20,000部
ポスター		5,720	500部
コースター		50,900	5,000部
報告書	25,000	36,590	7,000部
デザイン料	50,000	50,000	ウェブツール込
<b>2) 広報費（ウェブサイト）</b>	<b>104,890</b>	<b>76,884</b>	
ウェブサイト作業費	50,000	50,000	CL-Netサイト内のキャンペーンページ構築及び更新費
ドメイン管理料	2,990	2,990	
フォーム使用費	1,900	2,000	キャンペーン参加手続き等で有料フォームを使用
フェイスブック広告	50,000	21,894	
<b>3) イベント開催費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
通訳謝礼	0	0	支出なし
通訳レシーバー	0	0	支出なし
<b>4) 管理費</b>	<b>57,000</b>	<b>78,373</b>	
送料	30,000	42,547	キャンペーンフライヤー発送等
消耗品	3,500	4,980	封筒、紙、ファイル
印刷費	20,000	29,715	フライヤー制作、協力依頼資料、内部資料等
手数料	3,500	1,131	
<b>5) その他</b>	<b>38,110</b>	<b>0</b>	
人件費	0	0	支出なし
交通費	30,000	0	協力依頼訪問 及び デザイナー交通費
予備費	8,110	0	支出なし
<b>支出合計（B）</b>	<b>360,000</b>	<b>390,540</b>	
<b>収支合計（A-B）</b>	<b>0</b>	<b>3,153</b>	



# 監査報告書

2014年10月10日

児童労働ネットワーク

代表 堀内 光子 殿

児童労働ネットワーク

監事 寺中 誠



児童労働ネットワーク規約第12条第4項の規定に基づき、  
2013年度における運営委員の業務執行の状況及び財産状況  
について監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

以上